



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

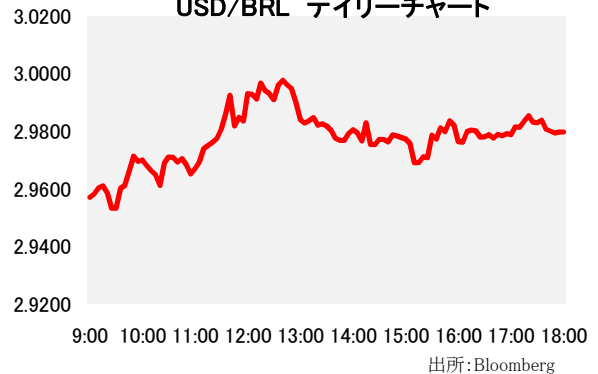
			2月26日	2月27日	3月2日	3月3日	3月4日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	2.9060	2.8410	2.8950	2.9320	2.9800	+0.0480
	BRL/JPY	Spot	41.11	42.05	41.53	40.82	40.18	-0.64
	EUR/USD	Spot	1.1197	1.1192	1.1182	1.1174	1.1078	-0.0096
	USD/JPY	Spot	119.45	119.62	120.18	119.71	119.71	u.c.
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	12.960	12.916	12.958	12.966	13.044	+0.078
	Future	1Year(p.a.)	13.138	13.046	13.127	13.165	13.237	+0.072
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.714	1.801	1.687	1.752	1.820	+0.068
	USD	1Year(p.a.)	2.367	2.423	2.380	2.477	2.514	+0.037
株式	Bovespa指数		51,761	51,583	51,021	51,304	50,468	-836
CDS	CDS Brazil 5y		248.31	240.00	243.00	237.00	248.34	+11.34
商品	CRB指数		220.952	224.078	221.979	222.025	223.200	+1.18

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

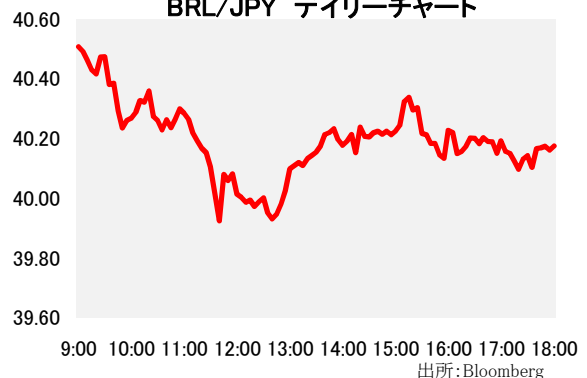
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
鉱工業生産(前年比)	-5.0%	-5.2%	-2.9%
HSBCブラジルサービス業PMI	--	52.3	48.4
HSBCブラジルコンポジットPMI	--	51.3	49.2
CNI設備稼働率(季調済)	--	81.5%	81.1%
(米)MBA住宅ローン申請件数	--	0.1%	-3.5%
(米)ADP雇用統計	219K	212K	250K
(米)ISM非製造業景況指数	56.5	56.9	56.7

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

レヴィー伯財務相	2014年の財政不均衡は著しかった。インフレ見通しは再び収束してきている。
----------	---------------------------------------

4. トピックス

- 本日のレアルは高値となる2.9320で寄り付いた。上院がルセフ大統領の増税を含んだ予算案を拒否したことを受けて、財政改革が後退し格下げのリスクが強まったとの認識が広まった。レアルはオープンから一気に売られ、2004年8月以来10年7ヶ月ぶりとなる2.9990を示現した。大台の3.00をつけるには至らず、午後からは2.98を挟んでのレンジ相場となった。結局2.9800でクローズした。
- 米ページブックでは大半の地区で経済が拡大している事が示され、消費や雇用の状態も強かった。ADP雇用統計は予想を下回るも前月分が大幅上方修正された。ISM非製造業景況指数も予想を上回り、ドルは堅調に推移した。ユーロは明日のECBを前に2003年9月以来11年5ヶ月ぶりの安値をつけている。
- 原油価格は米エネルギー情報局で在庫が予想外に増加していたことを受けて軟調に推移する場面もあったが、強い米経済指標を受けて、WTIの直近限月ものは一時52ドルを回復している。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しく願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。